

2022年度決算と 2024年度保険料率のお知らせ

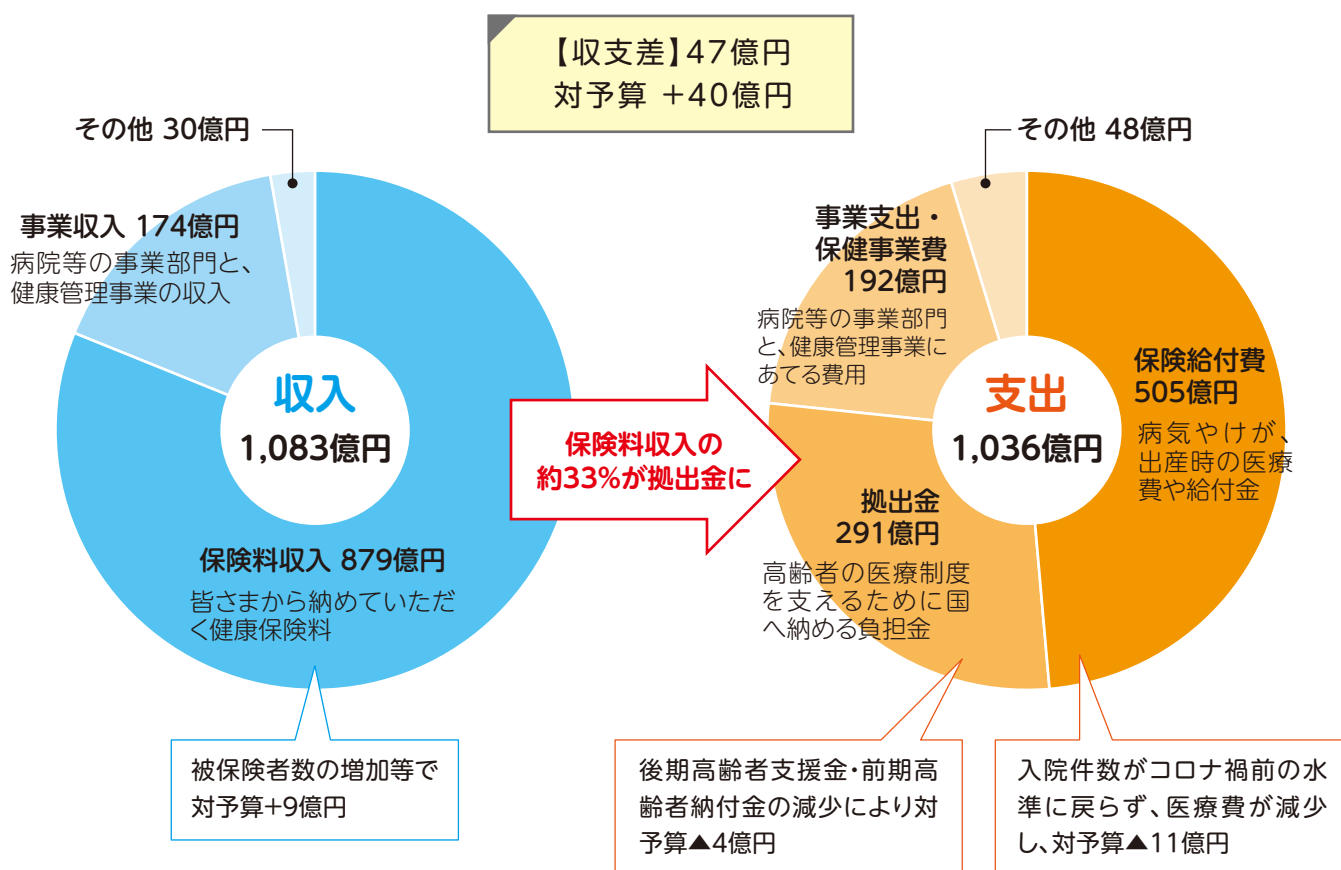
2023年8月1日に開催された組合会で、2022年度決算と2024年度の健康保険料率・介護保険料率が承認されました

2022年度決算について

◎健康保険

2022年度決算は予算7億円の黒字に対して、47億円の黒字となりました。

新型コロナの第7波・第8波による受診控えに加えて、入院件数がコロナ禍前の水準に戻らなかったことによる保険給付費の減少や、被保険者数の増加等による保険料収入の良化のため、予算よりも黒字幅が拡大しました。



◎介護保険

2022年度決算は、収入116億円、支出113億円、収支差3億円の黒字となりました。

2024年度保険料率について

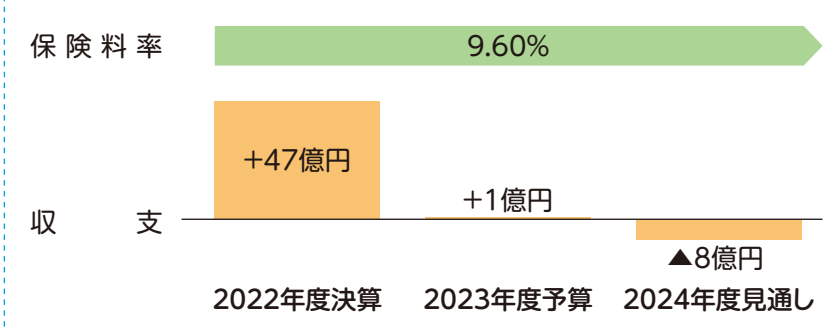
健康保険料率

現行	9.60%	±0%	2024年4月～	
事業主	5.79%			変更なし
本人	3.81%			

2024年度の収支は約8億円の赤字見込ですが、効率的な業務運営により収支均衡を目指します。



〈今後の収支見通し〉



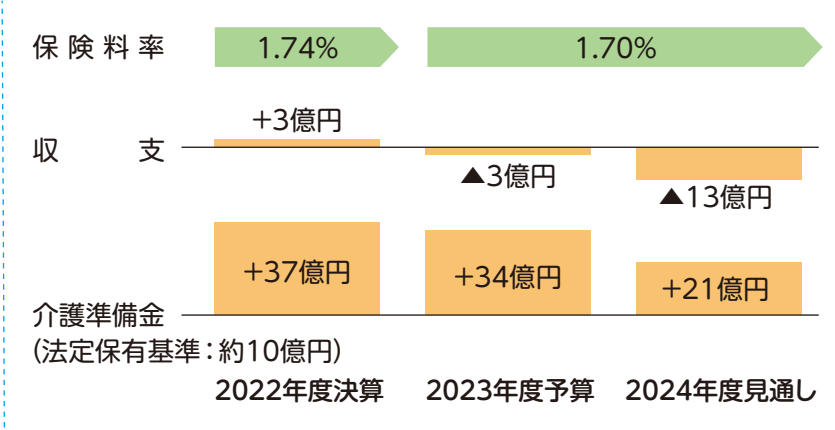
介護保険料率 (40～64歳の被保険者対象)

現行	1.70%	±0%	2024年4月～	
事業主	0.85%			変更なし
本人	0.85%			

2024年度の保険料率を1.70%に据え置いたら、約13億円の赤字になるけど大丈夫？



〈今後の収支見通しと介護準備金の推移〉



法律で定められた額の介護準備金(約10億円)を維持できるので大丈夫です。介護準備金はまだ若干の余裕がありますが、少子高齢化で今後も支出(介護納付金)の増加が見込まれるため、保険料率は下げずに据え置きます。

